

平成30年産飼料作物の作付（栽培）面積及び収穫量、 えん麦（緑肥用）の作付面積

－全国の牧草の収穫量は、前年産に比べ3%減少－

【調査結果の概要】

1 飼料作物計

全国の飼料作物計の作付（栽培）面積は97万300haで、前年産に比べ1万4,800ha（2%）減少した。

2 牧草

全国の牧草の作付（栽培）面積は72万6,000haで、前年産並みとなった。
収穫量は2,462万1,000tで、前年産に比べ87万6,000t（3%）減少した。
これは、10a当たり収量が前年産を下回ったためである。

3 青刈りとうもろこし

全国の青刈りとうもろこしの作付面積は9万4,600haで、前年産並みとなった。
収穫量は448万8,000tで、前年産に比べ29万4,000t（6%）減少した。
これは、10a当たり収量が前年産を下回ったためである。

4 ソルゴー

全国のソルゴーの作付面積は1万4,000haで、前年産に比べ400ha（3%）減少した。
収穫量は61万8,000tで、前年産に比べ4万7,000t（7%）減少した。
これは、作付面積が減少したことに加え、10a当たり収量が前年産を下回ったためである。

5 えん麦（緑肥用）

全国のえん麦（緑肥用）の作付面積は4万4,700haで、前年産に比べ1,000ha（2%）増加した。

表 平成30年産飼料作物の作付（栽培）面積、10a当たり収量及び収穫量、
えん麦（緑肥用）の作付面積

区 分	作付 (栽培) 面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						(参 考)	
				作付(栽培)面積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平均収量 対	10 a 当たり 平均収量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg		
飼 料 作 物 計	970,300	△14,800	98	nc	nc	nc	nc	...	
うち牧 草	726,000	3,390	24,621,000	△ 2,300	100	97	△ 876,000	97	97	3,480	
青刈りとうもろこし	94,600	4,740	4,488,000	△ 200	100	94	△ 294,000	94	92	5,160	
ソ ル ゴ ー	14,000	4,410	618,000	△ 400	97	95	△ 47,000	93	88	4,990	
えん麦（緑肥用）	44,700	1,000	102	nc	nc	nc	nc	...	

注：「（参考）10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

○ 「飼料作物計」とは、牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴーのほか、その他飼料作物（飼料用米等）を含めた合計である。
なお、本調査の収穫量調査は、牧草、青刈りとうもろこし及びソルゴーを対象に調査を実施している。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y12 】

◎調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 飼料作物に関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料
- ・ 飼料需給安定法（昭和 27 年法律第 356 号）に基づく飼料需給計画の策定（国内の飼料の供給量の把握）のための資料
- ・ 酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律（昭和 29 年法律第 182 号）に基づく生産振興方針の策定等（草地の造成、改良及び保全、飼料作物の作付けその他飼料の自給率向上のための措置）のための資料

◎累年データ

飼料作物の作付（栽培）面積、10 a 当たり収量及び収穫量の推移

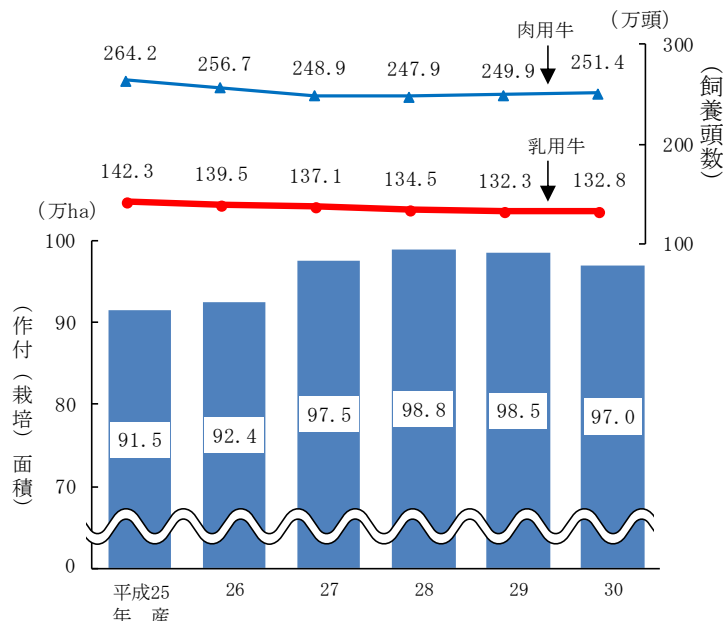
区分	飼料作物計		牧 草		青刈りとうもろこし			ソ ル ゴ ー		
	作付(栽培)面積	作付(栽培)面積	10 a 当たり収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量
	ha	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成21年産	901,500	764,100	3,630	27,726,000	92,300	5,030	4,645,000	18,700	5,840	1,092,000
22	911,400	759,100	3,630	27,580,000	92,200	5,040	4,643,000	17,900	5,590	1,001,000
23	933,000	755,100	3,550	26,783,000	92,200	5,110	4,713,000	17,600	5,340	939,200
24	931,600	750,800	(3,420)	(24,243,000)	92,000	5,250	4,826,000	17,000	5,240	890,700
25	915,100	745,500	(3,390)	(23,454,000)	92,500	5,180	4,787,000	16,500	5,320	877,000
26	924,300	739,600	3,410	25,193,000	91,900	5,250	4,825,000	15,900	4,960	787,900
27	975,200	737,600	3,540	26,092,000	92,400	5,220	4,823,000	15,200	4,790	728,600
28	988,400	735,200	3,360	24,689,000	93,400	4,560	4,255,000	14,800	4,430	655,300
29	985,100	728,300	3,500	25,497,000	94,800	5,040	4,782,000	14,400	4,620	665,000
30(概数)	970,300	726,000	3,390	24,621,000	94,600	4,740	4,488,000	14,000	4,410	618,000

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：平成 24 年産及び平成 25 年産の収穫量は、放射性物質調査の結果により給与自粛措置が行われた地域があったことから、全国値の推計を行っておらず、（ ）内の数値は主産県の合計値である。

◎関連データ

飼料作物の作付（栽培）面積と乳用牛及び肉用牛の飼養頭数の推移



資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』及び『畜産統計』

注：乳用牛及び肉用牛の飼養頭数については、当該年の2月1日現在調査による。

【調査結果】

1 飼料作物計（統計表 6 ページ参照）

全国の作付（栽培）面積は 97 万 300ha で、前年産に比べ 1 万 4,800ha（2%）減少した。

2 牧草（統計表 6、7 ページ参照）

(1) 作付（栽培）面積

全国の作付（栽培）面積は 72 万 6,000ha で、前年産並みとなった。

(2) 10 a 当たり収量

全国の 10 a 当たり収量は 3,390 kg で、前年産に比べ 3% 下回った。

これは、主産地である北海道において、低温、日照不足及び多雨により、生育が抑制されたためである。

なお、10 a 当たり平均収量対比は 97% となった。

(3) 収穫量

全国の収穫量は 2,462 万 1,000 t で、前年産に比べ 87 万 6,000 t（3%）減少した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の 70% を占めている。

図 1 牧草の作付（栽培）面積及び収穫量の推移

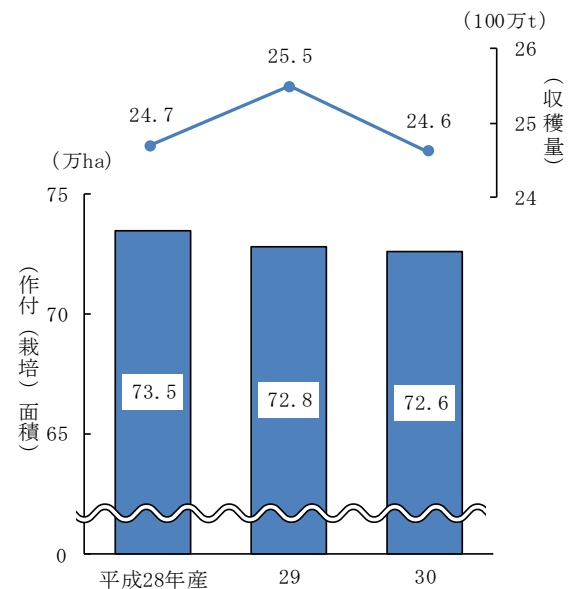
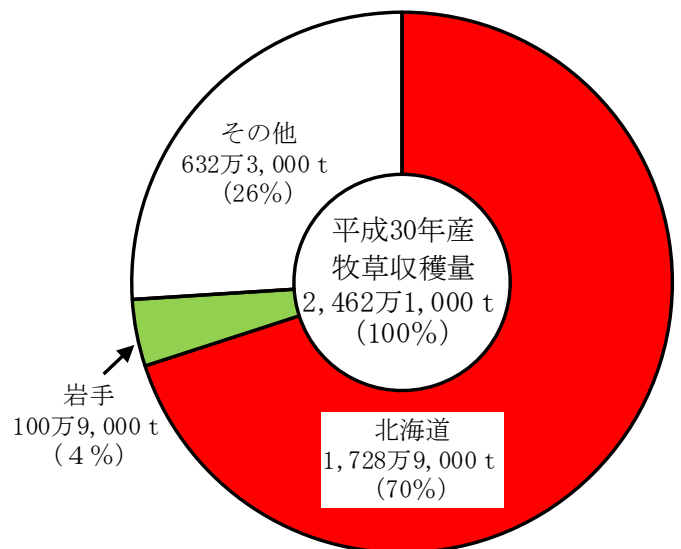


図 2 平成 30 年産牧草の都道府県別収穫量及び割合



3 青刈りとうもろこし（統計表 8、9 ページ参照）

(1) 作付面積

全国の作付面積は9万4,600haで、前年産並みとなった。

(2) 10 a 当たり収量

全国の10 a 当たり収量は4,740kgで、前年産に比べ6%下回った。

これは、主産地である北海道において、低温、日照不足及び多雨により、生育が抑制されたためである。

なお、10 a 当たり平均収量対比は92%となった。

(3) 収穫量

全国の収穫量は448万8,000tで、前年産に比べ29万4,000t（6%）減少した。

なお、都道府県別収穫量割合は、北海道が全国の60%を占めている。

図3 青刈りとうもろこしの作付面積及び収穫量の推移

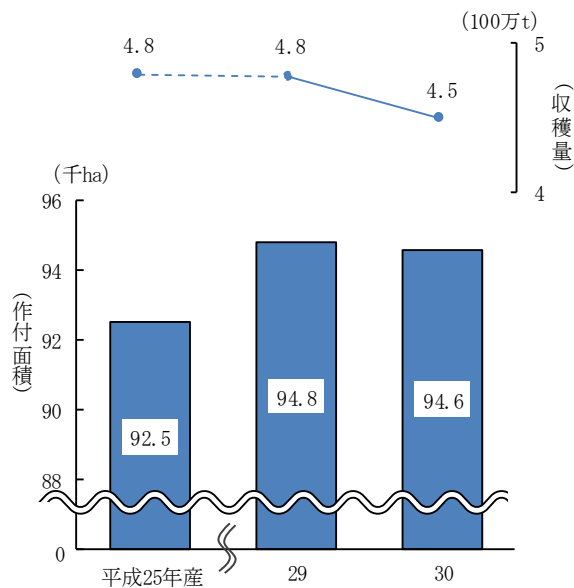
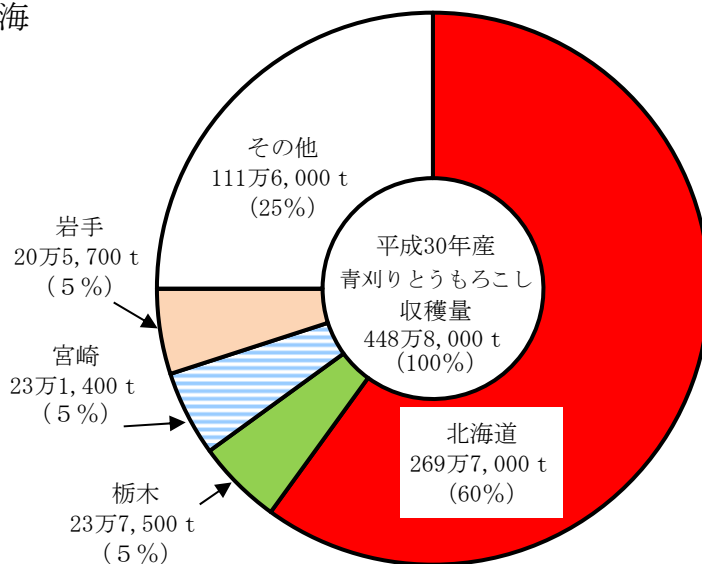


図4 平成30年産青刈りとうもろこしの都道府県別収穫量及び割合



注：数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない（以下、図6において同じ。）。

4 ソルゴー（統計表 8、9 ページ参照）

(1) 作付面積

全国の作付面積は1万4,000haで、前年産に比べ400ha（3%）減少した。

これは、他作物への転換等があったためである。

(2) 10a 当たり収量

全国の10a 当たり収量は4,410kgで、前年産に比べ5%下回った。

これは、主産地である九州において、台風による倒伏等の被害が発生したためである。

なお、10a 当たり平均収量対比は88%となった。

(3) 収穫量

全国の収穫量は61万8,000tで、前年産に比べ4万7,000t（7%）減少した。

なお、都道府県別収穫量割合は、宮崎県が25%、長崎県が16%、鹿児島県が14%、大分県が7%となっており、この4県で全国の約6割を占めている。

図5 ソルゴーの作付面積及び収穫量の推移

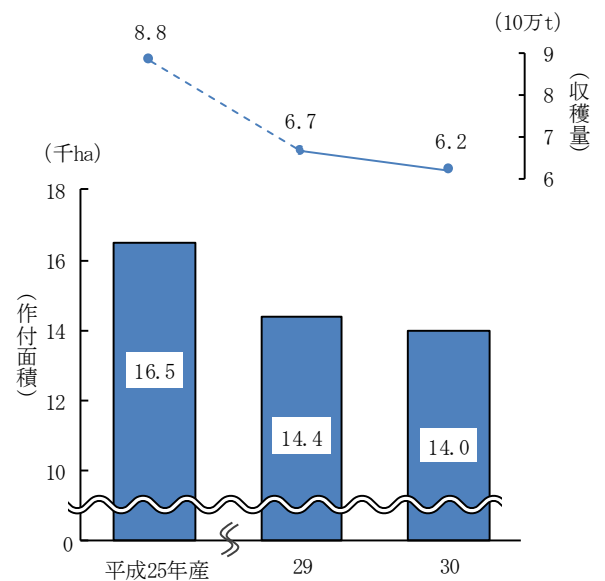
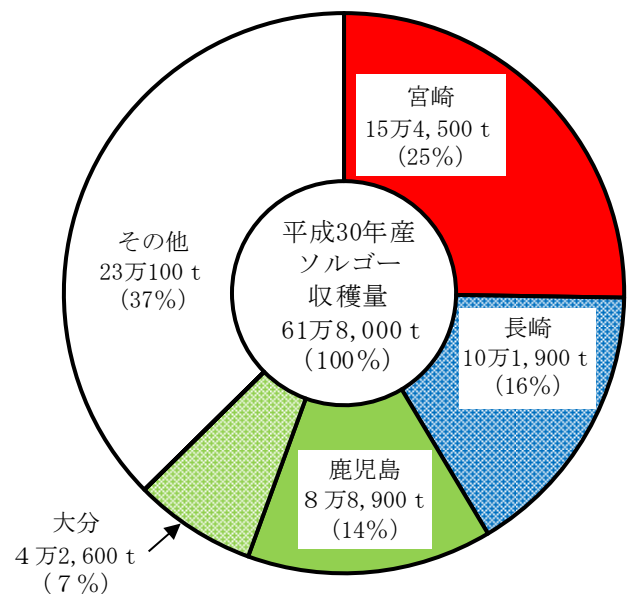


図6 平成30年産ソルゴーの都道府県別収穫量及び割合



5 えん麦（緑肥用）（統計表 10 ページ参照）

全国のえん麦（緑肥用）の作付面積は4万4,700haで、前年産に比べ1,000ha（2%）増加した。

【統計表】

1 平成30年産飼料作物計の作付（栽培）面積

都道府県	作付（栽培）面積											
	計	前年産との比較			田	前年産との比較			畑	前年産との比較		
		対差	対比			対差	対比			対差	対比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国	970,300	△ 14,800	98	224,600	△ 12,100	95	745,600	△ 2,800	100			
うち 北海道	592,300	△ 1,500	100	20,400	△ 600	97	571,900	△ 900	100			
青 森	26,300	△ 1,500	95	10,800	△ 1,000	92	15,500	△ 600	96			
岩 手	46,600	△ 1,000	98	14,500	△ 800	95	32,200	△ 100	100			
茨 城	13,100	△ 600	96	9,210	△ 560	94	3,860	△ 80	98			
栃 木	23,400	△ 900	96	15,200	△ 900	94	8,270	0	100			
群 馬	8,230	△ 390	95	2,450	△ 350	88	5,780	△ 40	99			
千 葉	7,950	△ 860	90	5,980	△ 820	88	1,970	△ 40	98			
愛 知	3,050	△ 370	89	1,890	△ 350	84	1,160	△ 30	97			
兵 庫	2,940	△ 150	95	2,480	△ 150	94	454	△ 4	99			
鳥 取	4,710	△ 310	94	2,340	△ 280	89	2,360	△ 30	99			
島 根	3,240	△ 110	97	2,140	△ 100	96	1,100	△ 10	99			
山 口	3,240	30	101	2,660	50	102	572	△ 35	94			
佐 賀	3,360	140	104	2,840	180	107	522	△ 32	94			
長 崎	11,000	0	100	6,110	120	102	4,940	△ 60	99			
熊 本	28,200	△ 300	99	17,000	△ 100	99	11,200	△ 200	98			
大 分	10,700	△ 100	99	6,410	△ 100	98	4,250	△ 80	98			
宮 崎	33,900	△ 300	99	20,100	△ 100	100	13,800	△ 200	99			
鹿 児 島	30,400	200	101	13,100	500	104	17,300	△ 300	98			
沖 縄	5,900	100	102	11	△ 6	65	5,890	100	102			

注： 全国の作付面積及び収穫量については、主産県の調査結果から推計したものである（以下の各統計表において同じ。）。

2 平成30年産牧草の作付（栽培）面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付（栽培）面積											
	計	前年産との比較			田	前年産との比較			畑	前年産との比較		
		対差	対比			対差	対比			対差	対比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国 (1)	726,000	△ 2,300	100	79,000	△ 100	100	647,000	△ 2,200	100			
うち 北海道 (2)	533,600	△ 1,400	100	15,800	△ 200	99	517,800	△ 1,200	100			
青 森 (3)	18,500	△ 400	98	4,610	50	101	13,900	△ 500	97			
岩 手 (4)	35,900	△ 200	99	8,500	△ 50	99	27,400	△ 100	100			
茨 城 (5)	1,550	△ 50	97	352	△ 8	98	1,200	△ 40	97			
栃 木 (6)	7,090	10	100	2,290	△ 10	100	4,790	10	100			
群 馬 (7)	2,930	△ 10	100	246	△ 11	96	2,680	△ 10	100			
千 葉 (8)	1,020	△ 30	97	233	△ 14	94	783	△ 17	98			
愛 知 (9)	733	△ 33	96	104	△ 5	95	629	△ 28	96			
兵 庫 (10)	970	△ 50	95	678	△ 49	93	292	△ 2	99			
鳥 取 (11)	2,310	20	101	787	27	104	1,530	0	100			
島 根 (12)	1,400	10	101	474	8	102	925	△ 2	100			
山 口 (13)	1,250	△ 20	98	798	△ 3	100	447	△ 17	96			
佐 賀 (14)	910	△ 29	97	573	△ 7	99	337	△ 22	94			
長 崎 (15)	5,560	20	100	2,890	20	101	2,670	△ 10	100			
熊 本 (16)	14,400	△ 100	99	5,960	△ 60	99	8,410	△ 30	100			
大 分 (17)	5,070	△ 40	99	1,680	20	101	3,380	△ 70	98			
宮 崎 (18)	16,000	△ 100	99	8,730	△ 50	99	7,290	△ 40	99			
鹿 児 島 (19)	18,900	100	101	6,170	300	105	12,700	△ 200	98			
沖 縄 (20)	5,840	90	102	11	△ 6	65	5,830	100	102			

注： 「（参考）10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である（以下の各統計表において同じ。）。

10 a 当たり収量		収 穫 量			(参 考)		
実 数	前 年 産 との比較	実 数	前年産との比較		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
	対 比		対 差	対 比			
kg	%	t	t	%	%	kg	
3,390	97	24,621,000	△ 876,000	97	97	3,480	(1)
3,240	97	17,289,000	△ 580,000	97	99	3,270	(2)
2,770	100	512,500	△ 9,100	98	100	2,770	(3)
2,810	102	1,009,000	16,200	102	111	2,540	(4)
4,270	91	66,200	△ 8,800	88	92	4,640	(5)
3,820	89	270,800	△ 32,900	89	94	4,080	(6)
4,860	94	142,400	△ 9,300	94	96	5,080	(7)
4,080	100	41,600	△ 1,200	97	95	4,310	(8)
3,320	95	24,300	△ 2,600	90	74	4,460	(9)
3,420	95	33,200	△ 3,500	90	84	4,090	(10)
3,100	89	71,600	△ 8,600	89	96	3,230	(11)
2,870	94	40,200	△ 2,300	95	93	3,100	(12)
2,470	85	30,900	△ 6,200	83	79	3,110	(13)
3,630	107	33,000	1,200	104	94	3,870	(14)
4,870	103	270,800	9,900	104	101	4,830	(15)
4,120	100	593,300	△ 2,700	100	102	4,040	(16)
4,300	99	218,000	△ 3,800	98	102	4,230	(17)
6,090	101	974,400	2,000	100	101	6,040	(18)
4,880	82	922,300	△ 197,700	82	73	6,690	(19)
10,600	101	619,000	15,200	103	102	10,400	(20)

3 平成30年産青刈りとうもろこしの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付面積											
	計	前年産との比較			田	前年産との比較			畑	前年産との比較		
		対差	対比			対差	対比			対差	対比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国 (1)	94,600	△ 200	100	8,660	△ 30	100	85,900	△ 200	100			
うち 北海道 (2)	55,500	400	101	1,590	80	105	53,900	300	101			
青森 (3)	1,680	△ 120	93	77	△ 19	80	1,600	△ 100	94			
岩手 (4)	5,130	△ 40	99	373	△ 29	93	4,760	△ 10	100			
茨城 (5)	2,460	50	102	216	28	115	2,240	20	101			
栃木 (6)	4,740	60	101	1,710	70	104	3,030	△ 10	100			
群馬 (7)	2,770	△ 60	98	317	△ 6	98	2,450	△ 60	98			
千葉 (8)	962	△ 20	98	153	△ 3	98	809	△ 17	98			
愛知 (9)	178	△ 3	98	11	0	100	167	△ 3	98			
兵庫 (10)	149	3	102	112	3	103	37	0	100			
鳥取 (11)	869	△ 36	96	231	△ 6	97	638	△ 30	96			
島根 (12)	66	△ 1	99	7	△ 1	88	59	0	100			
山口 (13)	7	△ 1	88	6	△ 1	86	1	0	100			
佐賀 (14)	9	0	100	4	0	100	5	0	100			
長崎 (15)	524	△ 30	95	83	△ 3	97	441	△ 27	94			
熊本 (16)	3,410	△ 190	95	1,100	△ 50	96	2,310	△ 140	94			
大分 (17)	729	△ 17	98	220	△ 8	96	509	△ 9	98			
宮崎 (18)	4,810	△ 100	98	718	△ 67	91	4,090	△ 30	99			
鹿児島 (19)	2,030	△ 80	96	130	△ 4	97	1,900	△ 70	96			
沖縄 (20)	1	0	100	-	-	nc	1	0	100			

4 平成30年産ソルゴの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付面積											
	計	前年産との比較			田	前年産との比較			畑	前年産との比較		
		対差	対比			対差	対比			対差	対比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国 (1)	14,000	△ 400	97	6,370	△ 280	96	7,600	△ 170	98			
うち 北海道 (2)	x	x	x	-	-	nc	x	x	x			
青森 (3)	-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc			
岩手 (4)	3	△ 3	50	3	△ 1	75	0	△ 2	0			
茨城 (5)	315	△ 86	79	28	△ 21	57	287	△ 65	82			
栃木 (6)	291	△ 8	97	149	△ 4	97	142	△ 4	97			
群馬 (7)	88	1	101	24	△ 1	96	64	2	103			
千葉 (8)	446	△ 7	98	147	△ 1	99	299	△ 6	98			
愛知 (9)	390	1	100	119	0	100	271	1	100			
兵庫 (10)	710	△ 68	91	593	△ 67	90	117	△ 1	99			
鳥取 (11)	321	5	102	162	5	103	159	0	100			
島根 (12)	184	5	103	80	5	107	104	0	100			
山口 (13)	435	0	100	329	3	101	106	△ 3	97			
佐賀 (14)	329	△ 11	97	216	△ 1	100	113	△ 10	92			
長崎 (15)	2,140	△ 30	99	984	△ 8	99	1,150	△ 20	98			
熊本 (16)	768	△ 37	95	438	△ 21	95	330	△ 16	95			
大分 (17)	823	△ 32	96	516	△ 28	95	307	△ 4	99			
宮崎 (18)	2,850	△ 220	93	1,020	△ 190	84	1,830	△ 30	98			
鹿児島 (19)	1,840	90	105	579	87	118	1,260	10	101			
沖縄 (20)	44	7	119	-	-	nc	44	7	119			

10 a 当たり収量		収 穫 量			(参 考)		
実 数	前年産との比較	実 数	前年産との比較		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
	対 比		対 差	対 比			
kg	%	t	t	%	%	kg	
4,740	94	4,488,000	△294,000	94	92	5,160	(1)
4,860	89	2,697,000	△306,000	90	88	5,500	(2)
4,050	107	68,000	△ 200	100	97	4,180	(3)
4,010	108	205,700	13,400	107	93	4,290	(4)
5,000	104	123,000	6,800	106	94	5,310	(5)
5,010	120	237,500	42,800	122	102	4,910	(6)
5,250	97	145,400	△ 7,400	95	93	5,670	(7)
5,380	96	51,800	△ 3,500	94	95	5,650	(8)
4,060	77	7,230	△ 2,330	76	95	4,290	(9)
2,940	91	4,380	△ 350	93	80	3,680	(10)
2,900	85	25,200	△ 5,600	82	73	3,960	(11)
3,250	94	2,150	△ 150	93	91	3,590	(12)
3,090	82	216	△ 84	72	91	3,410	(13)
3,270	96	294	△ 12	96	89	3,660	(14)
4,520	102	23,700	△ 900	96	99	4,560	(15)
4,490	101	153,100	△ 7,100	96	101	4,430	(16)
4,310	98	31,400	△ 1,400	96	99	4,350	(17)
4,810	95	231,400	△ 16,600	93	101	4,750	(18)
4,050	95	82,200	△ 8,100	91	81	4,970	(19)
3,590	47	36	△ 41	47	56	6,410	(20)

10 a 当たり収量		収 穫 量			(参 考)		
実 数	前年産との比較	実 数	前年産との比較		10 a 当たり 平均収量 対 比	10 a 当たり 平均収量	
	対 比		対 差	対 比			
kg	%	t	t	%	%	kg	
4,410	95	618,000	△ 47,000	93	88	4,990	(1)
x	x	x	x	x	nc	-	(2)
-	nc	-	-	nc	nc	-	(3)
3,120	201	94	1	101	93	3,360	(4)
4,530	98	14,300	△ 4,100	78	93	4,860	(5)
3,460	102	10,100	△ 100	99	85	4,080	(6)
4,400	90	3,870	△ 400	91	92	4,770	(7)
5,910	102	26,400	100	100	95	6,240	(8)
3,030	92	11,800	△ 1,000	92	77	3,920	(9)
2,250	91	16,000	△ 3,200	83	58	3,900	(10)
2,100	84	6,740	△ 1,160	85	70	2,980	(11)
2,940	96	5,410	△ 90	98	92	3,200	(12)
2,290	80	9,960	△ 2,440	80	76	3,010	(13)
3,070	94	10,100	△ 1,000	91	83	3,680	(14)
4,760	105	101,900	3,800	104	96	4,970	(15)
5,390	100	41,400	△ 2,200	95	100	5,410	(16)
5,180	98	42,600	△ 2,500	94	101	5,150	(17)
5,420	98	154,500	△ 15,900	91	99	5,500	(18)
4,830	90	88,900	△ 5,100	95	78	6,190	(19)
3,000	90	1,320	90	107	61	4,890	(20)

5 平成30年産えん麦（緑肥用）の作付面積

都道府県	作付面積										
	計	前年産との比較			田	前年産との比較			畑	前年産との比較	
		対差	対比			対差	対比			対差	対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%		
全 国	44,700	1,000	102	8,460	△ 340	96	36,200	1,300	104		
うち 北海道	41,000	900	102	7,020	△ 340	95	34,000	1,300	104		

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積及び収穫量調査として実施したものであり、飼料作物等の生産に関する実態を明らかにすることにより、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料、飼料作物に関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料、飼料需給安定法（昭和27年法律第356号）に基づく飼料需給計画の策定（国内の飼料の供給量の把握）のための資料、酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律（昭和29年法律第182号）に基づく生産振興方針の策定等（草地の造成、改良及び保全のための資料、飼料作物の作付けその他飼料の自給率向上のための措置）のための基礎資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

平成30年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査（直近では作付面積調査及び収穫量調査ともに平成29年産）を作付面積調査は3年、収穫量調査は6年ごとに実施しており、その中間年にあつては、直近の全国調査年における作付（栽培）面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県又は農業競争力強化基盤整備事業のうち飼料作物に係るものを実施する都道府県を調査対象（主産県）としている。

また、えん麦（緑肥用）の作付面積についても、3年ごとに全国調査を実施するとともに、その中間年にあつては、全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県を調査対象（主産県）としている。

(2) 調査対象の選定

ア 作付面積調査（全数調査）

飼料作物及びえん麦（緑肥用）を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 収穫量調査

(ア) 関係団体調査（全数調査）

飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴー）を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

(イ) 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて、飼料作物等を作付けした農林業経営体から無作為に抽出した。

(3) 調査対象者数

ア 作付面積調査

関係団体調査		
団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①
団体 162	団体 152	% 93.8

イ 収穫量調査

関係団体調査			標本経営体調査				
団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
団体 32	団体 22	% 68.8	経営体 58,675	経営体 4,275	% 7.3	経営体 1,971	% 46.1

注：「有効回収数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった団体及び経営体は含まない。

3 調査事項

- (1) 作付面積調査（飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴー）、えん麦（緑肥用））田畑別の作付（栽培）面積
- (2) 収穫量調査（牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴー）

ア 関係団体調査

作付（栽培）面積及び集荷量

イ 標本経営体調査

作付（栽培）面積、出荷量及び自家消費の量

4 調査期日

収穫期

5 調査方法

- (1) 作付面積調査

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。

- (2) 収穫量調査

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

- (1) 作付面積調査

関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

なお、本年産調査は主産県調査に当たることから、全国値については、全国調査を行った平成 29 年産の調査結果に基づき、次により推計した。

ア 牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴー及びえん麦（緑肥用）

全国値＝主産県の作付面積の合計値＋主産県以外の各都道府県（以下「非主産県」という。）の作付面積（x）の合計値

x：平成 29 年産における非主産県の作付面積の合計値×作付面積の変動率（y）

y：平成 30 年産における主産県の作付面積の合計値÷平成 29 年産における主産県の作付面積の合計値

イ その他飼料作物（飼料用米、WCS 用稲を除く）

全国値＝平成 29 年産における作付面積の合計値×作付面積の変動率（y）

作付面積の変動率（y）については、調査年における全国の合計値を用いて 1 年当たりの変動率（a）を算出し、それに経過年数を乗じることにより算出した。

a：（（平成 29 年産における全国の作付面積の合計値÷平成 28 年産における全国の作付面積の合計値）－ 1）

y：a×経過年数（平成 30 年産の場合は「1」）＋ 1

(2) 収穫量調査

関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた 10 a 当たり収量に作付面積を乗じて算出し、必要に応じて統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完している。

なお、本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値については、全国調査を行った平成 29 年産の調査結果に基づき、次により推計した。

全国値＝平成 29 年産の収穫量の全国値×主産県の比率（X）

X：平成 30 年産における主産県の収穫量の合計値÷平成 29 年産における主産県の収穫量の合計値

7 調査の精度

(1) 作付面積調査

本調査は、関係団体に対する全数調査結果を用いて全国値を算出していることから、目標精度を設定していない。

(2) 収穫量調査

本調査の 10 a 当たり収量に係る調査結果（全国）の実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと牧草 2.1%、青刈りとうもろこし 2.6%、ソルゴー 3.1%である。

8 用語の解説

(1) 「作付面積」とは、は種又は植付けをしてからおおむね 1 年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。

(2) 「作付（栽培）面積」とは、(1)の作付面積に加え、永年性牧草を栽培している面積をいう。

(3) 「収穫量」とは、飼料用として収穫された生の状態の量をいう。

なお、放牧して直接家畜に与えるものも含む。

- (4) 「10 a 当たり収量」とは、10 a 当たりの収穫量をいう。
- (5) 「10 a 当たり平均収量」とは、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。
- (6) 「10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量に対する10 a 当たり収量の比率をいう。

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- (2) 表中に用いた記号は次のとおりである。
- 「0」：単位に満たないもの (例 0.4ha→0 ha)
 - 「-」：事実のないもの
 - 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの
 - 「△」：負数又は減少したもの
 - 「nc」：計算不能

- (3) 秘匿措置について

統計調査結果について、生産者数が2以下の場合には、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「x」表示とする秘匿措置を施している。

なお、全体 (計) からの差引きにより、秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「x」表示としている。

- (4) この資料に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成30年産飼料作物作付 (栽培) 面積及び収穫量、えん麦 (緑肥用) の作付面積」 (農林水産省) による旨を記載してください。

10 その他

この資料 (平成31年3月7日公表) の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載 (本年8月予定) するとともに、その後刊行する『平成30年耕地及び作付面積統計』及び『平成30年産作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「畜産」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y12 】

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3681

（直通）03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

- ・収穫量に関すること

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3682

（直通）03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>